

NST通信

お知らせ

◆委員会

4月28(木) 16時00分～ 講義室

◇NST 委員・部署紹介

◆研修会

4月28(木) 17時40分～ 大会議室

◇NST まめ知識講座第1回

講義：NST 総論 講師 村田医師

NST 通信では各部署のNST 委員の方に記事担当をお願いしてトピックスなどを紹介しています。

今月は**新3病棟**の担当です。

腸内細菌のお話し

腸内細菌が注目され始めたのは、オーストラリアの消化器内科医師バリー・ジェームズ・マーシャルらが『胃癌とはピロリ菌の慢性感染症である』と1980年代に発表してからと言われており、それまでは腸内細菌の研究は進んでいませんでした。

腸内細菌が大切なのは動物の行動からも分かります。

コアラはユーカリを食べますが、ユーカリには有毒なタンニンが多く含まれ、子供コアラはタンニンを分解する酵素(タンナーゼ)を作り出す腸内細菌がないので、酵素を作り出す腸内細菌を含む『糞』を離乳食として母親コアラは子供コアラに与え、腸内細菌を移植します(糞食)。

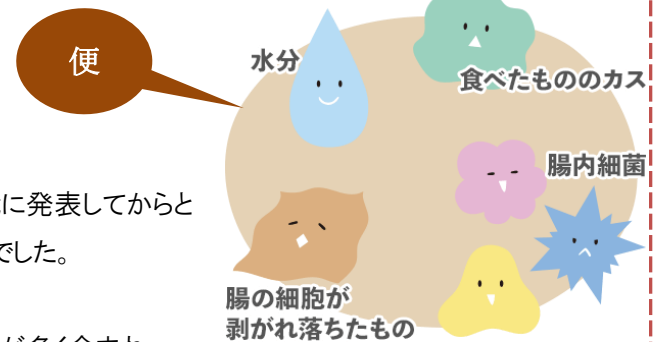
『The New England Journal of Medicine』2013年1月16日掲載の偽膜性大腸炎の治療で“大便カクテル”をチューブで注入し腸内細菌を移植する治療法が掲載されています。

腸内細菌は1000種類以上と言われていますが、現時点で分かっている種類は多く見積もっても400種類です。現在は腸内細菌のDNA配列をデータベース化する事で、世界の研究者と共有できるようになっています。



～「腸内細菌」が健康寿命を決める 辨野義巳 株式会社集英社インターナショナル

～健康・寿命を左右するヒト腸内フローラ 辨野義巳 www.yakult.co.jp



GFO®

～腸に届ける3つの栄養素～



NSTでは、経腸栄養剤の組成や栄養成分を考慮し経腸栄養の提案をおこなっています！

G：グルタミン アミノ酸の一種 腸管のエネルギー源となる

F：ファイバー グァーガム分解物（水溶性食物繊維） 腸内細菌により利用される

O：オリゴ糖 善玉菌とされるビフィズス菌の食糧となる ヒトの消化酵素では消化されず大腸へ

腸内環境をととのえるためには、さまざまな食物繊維やオリゴ糖、発酵食品などを摂取することが有用です。



現在の経腸栄養剤の多くは、腸内環境をサポートするプレバイオティクスである「食物繊維」や「オリゴ糖」などが付加されています。

参考 早坂朋恵(2021)「Nutrition Care」メディカ出版
<https://www.otsukakj.jp/gfo/>